

# 泉大津市立周産期小児医療センター NICU



泉大津市立病院周産期センターは 2009 年に泉州二次医療圏で 3 つ目の周産期母子医療センターとして開設した比較的新しい施設です。現在、在胎 26 週、体重 700g 以上の胎児・新生児を受け入れています。NICU 病床 6 床、GCU 病床 9 床の地域周産期母子医療センターとして 15 年間運営し、年間の新規入院数は約 150 人程度でした（2023 年：156 名、2022 年：152 名、2021 年：151 名）。2024 年 12 月から、泉大津市立病院と府中病院の医療機能を集約し、両院の周産期・小児部門は「泉大津市立周産期小児医療センター」として合計 82 床の周産期・小児医療に特化した施設に生まれ変わります。

当院の NICU 診療を担当している「新生児内科」は大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室の関連病院として運営しています。また、「小児科」は和歌山県立医科大学小児科学教室の関連病院として運営しています。また小児科専門医制度の協力病院として田附興風会医学研究所北野病院から後期研修医の受け入れを行っており、小児科と新生児内科の常勤医計 13 名以上（うち新生児内科専属 4 名）による合同カンファレンスでは、垣根のない情報共有と関連な意見交換が行われます。

新生児内科は近隣分娩施設からの電話相談対応から病児の出迎え搬送を積極的に行っております。また、学会認定の新生児蘇生講習会を年間通して定期的で開催しています。心臓エコー検査などによる新生児心臓スクリーニングも紹介患者に対して提供しております。小児科は一般診療のほか、小児内分泌、神経、血液、循環器、アレルギー、腎臓専門医による専門外来や、夜間救急診療も行っています。小児科病棟では重症肢体不自由児に対するレスパイト入院を受け入れており、リハビリテーション科は入院・外来患者問わず、新生児乳児の早期神経評価・リハビリ介入に対応しています。また、小児外科常勤医が在籍し、大阪公立大学医学部附属病院麻酔科の協力を得て、新生児・乳児から小児の外科手術にも対応しています。

地域の安心安全で健やかな周産期小児医療と御家族の笑顔に貢献できますよう、NICU 医師・看護師一同はもちろん、病院・全科上げて地域のニーズに合った、最善の医療を提供できるよう鋭意診療を行っております。